

第1回 熊本城復旧基本計画検証委員会について

1 第1回開催

- (1) 日 時 令和4年（2022年）7月29日 金曜日 午後2時～
- (2) 場 所 桜の馬場城彩苑 多目的交流施設
- (3) 出席者 ① 検証委員会委員（7名） ② 国（文化庁、国土交通省）※リモート
③ 熊本県（文化課、都市計画課） ④ 熊本市（文化財課、公園課、熊本城総合事務所）

2 委員

	役 職	氏 名	分 野	備 考
1	委員長	蓑茂 壽太郎	造園学	東京農業大学 名誉教授 （熊本城復旧基本計画策定委員会 委員長）
2	副委員長	山尾 敏孝	土木工学 （歴史遺産）	熊本大学 名誉教授 （熊本市文化財保護委員会 委員長、熊本城文化財修復検討委員会 委員長）
3	委員	伊東 龍一	建築学 （日本建築史）	熊本大学大学院 教授 （特別史跡熊本城保存活用委員会 委員長）
4	委員	北野 博司	考古学 （石垣）	東北芸術工科大学 教授 （熊本城文化財修復検討委員会 石垣ワーキング長）
5	委員	坂本 浩	経済・観光	熊本商工会議所 専務理事
6	委員	原 幸代子	文化	熊本県文化協会 副会長
7	委員	三浦 瑠璃	公募	

第1回 熊本城復旧基本計画検証委員会について

3 議事

(1) 現在までの実施状況

- ① 地震発生後から実施してきた、復旧工事や特別公開などの主な取り組みを、年度ごとにダイジェストで報告

(2) 「短期計画工程」及び「施策と具体的な取り組み」に関する検証

- ① これまで、5年間の短期計画工程の検証結果を報告し、現段階では大きな遅れが見られないことを説明
- ② 基本計画にある、次の項目ごとの取り組みについて振り返り、実施内容や経緯、また、苦慮した点などを報告
- ・被災した石垣、建造物等の保全
 - ・復興のシンボル「天守閣」の早期復旧
 - ・石垣、建造物等の文化財的価値の保全と計画的復旧
 - ・復旧過程の段階的公開と活用
 - ・最新技術も活用した安全対策の検討
 - ・100年先を見据えた復元への礎づくり
 - ・復旧基本計画の推進

(3) 石垣・建造物等の復旧に関する検証及び課題の整理

これまでの復旧工事を検証した結果、次の課題により復旧工程の全体を見直す必要があることを説明

- ・基本計画策定時に想定していた標準工期と実績に大きな違いが出てきている。（特に石垣測量や石材対照）
- ・石工等の専門技術者の確保や人材育成
- ・工事用スロープや特別見学通路下にある石垣などの復旧時期 など

第1回 熊本城復旧基本計画検証委員会について

(4) 復旧過程の段階的公開と活用に関する検証及び課題の整理

これまでの公開と活用において検証した結果、次の課題に向けた検討や取り組みが必要であることを報告。

- 今後の復旧状況の「見える化」
- 新たな情報発信手法
- 教育機関等との連携による取り組み
- 都市公園、観光資源としての機能回復や適性な維持管理

(5) 今後の動き

- ① 検証委員会（本年度中に3回開催を予定）
 - 第2回 12月（予定）⇒ 今後の具体的スケジュールや公開活用の検討
 - 第3回 3月（予定）⇒ 検証結果、計画見直しの最終案報告
- ② 国、県との調整 ⇒ 必要に応じて情報を共有し、熊本城公園復旧推進会議にて最終報告予定（3月）
- ③ 市民への情報発信事業 ⇒ シンポジウムやパネル展の実施（1～3月に開催予定）

4 まとめ

- ★全体工程の見直しの必要性について了承
- ★公開活用に向けた更なる効果的な手法の検討や新たな取り組みの必要性について了承
- ★次回委員会に向けてしっかりと検討を進めること